

熊本大学医学科後援会会長
熊本大学生命科学研究部健康増進学

河野 宏 明



このたび、熊本大学医学科後援会会長を拝命するとともに肥後医育振興会評議委員に任命されました。熊本大学医学科には昭和37年（1962年）2月、保護者相互の親睦を図るとともに、学生生活や勉学向上を手助けするために、学生の保護者全員を会員とする「熊本大学医学部後援会（現在は、医学部医学科後援会）」（以下、「後援会」）が設立され、以来60年間活動を行ってまいりました。特に、学生の教育の発展を目的に課外活動を含む福利厚生の充実を図るため、新入生合宿研修、小グループ懇談会、医師国家試験模擬試験、医学教育ワークショップ、オスキー模擬患者支援経費、早期臨床体験実習、医学部医学会学友会（課外活動助成、西日本医学科学学生総合体育大会、九州山口医科大学体育大会、CBT 奨学金助成、学園祭補助、などの助成を行っております。加えて、熊杏印刷費および基礎研究医を目指す人材育成プログラムである「柴三郎プログラム」へも寄付を行っております。私は1990年に熊本大学卒業ですが、学生時代には後援会が存在し

ていたことは全く知りませんでした。今思うと、学生時代、後援会のバックアップがあって、仲間と医学部山岳部で登山ができ、楽しい学生生活を過ごしていたのです。今年度も、全ての熊本大学医学科学学生が充実した環境で、実りある楽しい学生生活を送ることができるよう積極的に支援してまいります。

肥後医育振興会は、肥後医育塾の開催による医学・医療の最前線の情報提供などの活動を通して、県民、市民にわかりやすい情報発信を行っております。医学教育や研究者への支援も積極的に行っております。運よく私も、1999年肥後医育振興会より、医学研究助成金をいただきました。とても光栄で、ありがたく、嬉しく思ったことを鮮明に覚えております。肥後医育振興会には、医療者のみでなく、産学官の多様な能力の結集した、次世代の人材育成にサポートをいただけたら、熊本県のみならず我が国の発展に大きく寄与するのではないかと思います。



熊本大学病院アメニティ施設完成イメージ図（令和6年度中完成予定）

教職員や学生の大学関係者に限らず、患者様・来院者への更なるサービス向上等を目的とし、1階にコンビニ・バス待合・薬局、2階にレストラン、3階に学外の方も使用可能な多目的会議室等を有するアメニティ施設の設置を進めています。